

**【表紙】**

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	近畿財務局長
【提出日】	令和元年5月15日
【四半期会計期間】	第46期第3四半期（自平成31年1月1日至平成31年3月31日）
【会社名】	株式会社ユニバーサル園芸社
【英訳名】	UNIVERSAL ENGEISHA CO.,LTD
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 森坂 拓実
【本店の所在の場所】	大阪府茨木市大字佐保193番地の2
【電話番号】	072-649-2266（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役副社長 兼 管理本部長 安部 豪
【最寄りの連絡場所】	大阪府茨木市大字佐保193番地の2
【電話番号】	072-649-2266（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役副社長 兼 管理本部長 安部 豪
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第45期 第3四半期 連結累計期間	第46期 第3四半期 連結累計期間	第45期
会計期間	自 平成29年7月1日 至 平成30年3月31日	自 平成30年7月1日 至 平成31年3月31日	自 平成29年7月1日 至 平成30年6月30日
売上高 (千円)	5,485,538	6,216,665	7,355,876
経常利益 (千円)	644,324	713,563	808,339
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益 (千円)	290,245	479,630	403,616
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	276,777	469,942	384,548
純資産額 (千円)	6,330,981	6,816,454	6,441,141
総資産額 (千円)	7,515,877	8,238,130	7,800,209
1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	60.41	99.83	84.01
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	84.2	82.7	82.5

回次	第45期 第3四半期 連結会計期間	第46期 第3四半期 連結会計期間
会計期間	自 平成30年1月1日 至 平成30年3月31日	自 平成31年1月1日 至 平成31年3月31日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	6.29	52.86

- (注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
- 2 売上高には、消費税等は含まれておりません。
- 3 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

#### 2【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社における異動は、以下のとおりであります。

小売事業において、当社は平成30年10月1日付で園芸ネット株式会社の発行済株式の全部を取得して子会社化し、第2四半期連結会計期間より連結子会社としています。

この結果、平成31年3月31日現在では、当社グループは、当社、連結子会社8社により構成されることとなりました。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生、又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在していません。

### 2【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

#### (1) 経営成績の状況

当第3四半期連結累計期間における我が国の経済は、経済政策等の効果による企業収益や雇用環境の改善を背景に、消費の持ち直し等により景気は緩やかな回復基調が続いておりますが、米中の通称問題の長期化や英国のEU離脱問題もあり、景気の先行きは不透明な状況で推移しております。

このような環境のもと、当社グループは主力事業であるグリーン事業において、レンタルグリーンにおける新規顧客の獲得や販売促進のためのマーケティング活動に引き続き注力したほか、生花店及び園芸雑貨店とネット通信販売との相乗効果を図る取組を進めてまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は6,216,665千円（前年同四半期比13.3%増）、営業利益は684,364千円（同6.7%増）、経常利益は713,563千円（同10.7%増）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は479,630千円（同65.2%増）となりました。

各セグメントの経営成績は次のとおりであります。

各セグメントの経営成績数値につきましては、セグメント間の内部取引高を含めて表示しております。

#### 〔グリーン事業〕

グリーン事業につきましては、米国子会社のローリング・グリーンズ・インク社の収益改善に取組み、国内は引き続き景況感の緩やかな需要回復が進み、契約数の増加により増収増益となりました。

以上の結果、当セグメントの売上高は4,620,753千円（前年同四半期比12.3%増）、営業利益は662,952千円（同8.0%増）となりました。売上高営業利益率は、関東エリアは21.9%（前年同四半期23.2%）、関西エリアは24.1%（同23.5%）、海外エリアは2.7%（同1.7%）となりました。

#### 〔卸売事業〕

卸売事業につきましては、販売先の拡大等の営業強化に引き続き取組み、増収増益となりました。

以上の結果、当セグメントの売上高は836,771千円（前年同四半期比25.8%増）、営業利益は70,690千円（同31.3%増）となりました。

#### 〔小売事業〕

小売事業につきましては、第2四半期連結会計期間より園芸ネット株式会社を連結子会社化したことや、the Farm UNIVERSAL大阪にいちご園をオープンし、さらなる集客に努め、増収となっておりますが、引き続き設備投資の償却負担等が回収できなかったこと等によりセグメント損益は損失となっております。尚、ガーデンセンターやグリーンショップ、フラワーショップ等の小売事業は、「母の日」や季節的要因により第4四半期が最も繁忙期となります。

以上の結果、当セグメントの売上高は961,384千円（前年同四半期比24.6%増）、営業損失は71,501千円（前年同四半期は44,273千円の営業損失）となりました。

(2) 財政状態の分析

(総資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は8,238,130千円となり、前連結会計年度末に比べ437,921千円の増加(5.6%増)となりました。

このうち流動資産は4,095,153千円となり、前連結会計年度末に比べて528,862千円の増加(14.8%増)となりました。これは主に、現金及び預金が339,509千円増加したこと等によるものであります。

また、固定資産は4,142,977千円となり、前連結会計年度末に比べて90,941千円の減少(2.1%減)となりました。これは主に、投資その他の資産が125,372千円減少したこと等によるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は1,421,676千円となり、前連結会計年度末に比べて62,607千円の増加(4.6%増)となりました。これは主に、賞与引当金が42,276千円増加したこと等によるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は6,816,454千円となり、前連結会計年度末に比べて375,313千円の増加(5.8%増)となりました。これは主に、利益剰余金が385,001千円増加したこと等によるものであります。

(3) 経営方針・経営戦略等

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが定めている経営方針・経営戦略等について重要な変更はありません。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループの事業上及び財務上の対処すべき課題について、重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(5) 研究開発活動

該当事項はありません。

3 【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	16,000,000
計	16,000,000

###### 【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成31年3月31日)	提出日現在発行数 (株) (令和元年5月15日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	5,025,000	5,025,000	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数は100株で あります。
計	5,025,000	5,025,000	-	-

##### (2)【新株予約権等の状況】

###### 【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

###### 【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
平成31年1月1日～ 平成31年3月31日	-	5,025,000	-	172,770	-	122,488

##### (5)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(6) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容の確認ができないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成30年12月31日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成30年12月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 220,400	-	権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式
完全議決権株式(その他)	普通株式 4,803,300	48,033	同上
単元未満株式	普通株式 1,300	-	-
発行済株式総数	5,025,000	-	-
総株主の議決権	-	48,033	-

(注) 「単元未満株式」欄の普通株式には、当社所有の自己株式22株が含まれております。

【自己株式等】

平成30年12月31日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義所有 株式数(株)	他人名義所有 株式数(株)	所有株式数の 合計(株)	発行済株式総 数に対する所 有株式数の割 合(%)
(株)ユニバーサル園芸社	大阪府茨木市大字佐保 193番地の2	220,400	-	220,400	4.39
計	-	220,400	-	220,400	4.39

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4【経理の状況】

### 1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

### 2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（平成31年1月1日から平成31年3月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成30年7月1日から平成31年3月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、桜橋監査法人による四半期レビューを受けております。

## 1【四半期連結財務諸表】

## (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成31年3月31日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	2,254,264	2,593,774
受取手形及び売掛金	784,231	951,067
有価証券	100,043	-
商品及び製品	334,656	394,784
原材料及び貯蔵品	869	871
その他	105,768	167,475
貸倒引当金	13,543	12,820
流動資産合計	3,566,291	4,095,153
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
土地	946,274	987,321
その他	2,168,723	2,290,842
減価償却累計額	1,277,944	1,387,290
その他(純額)	890,778	903,551
有形固定資産合計	1,837,053	1,890,873
<b>無形固定資産</b>		
のれん	816,056	802,533
その他	38,662	32,797
無形固定資産合計	854,718	835,330
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	165,398	104,643
繰延税金資産	472,549	486,988
投資不動産	506,735	508,844
減価償却累計額	116,446	121,888
投資不動産(純額)	390,289	386,955
その他	518,626	441,440
貸倒引当金	4,717	3,254
投資その他の資産合計	1,542,146	1,416,773
固定資産合計	4,233,918	4,142,977
資産合計	7,800,209	8,238,130

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成31年3月31日)
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>		
買掛金	237,778	293,471
1年内返済予定の長期借入金	75,197	1,522
未払法人税等	176,409	137,590
賞与引当金	3,290	45,566
その他	403,895	463,218
流動負債合計	896,570	941,369
<b>固定負債</b>		
長期借入金	6,154	12,331
退職給付に係る負債	177,959	184,830
長期未払金	217,341	218,644
その他	61,041	64,500
固定負債合計	462,497	480,307
負債合計	1,359,068	1,421,676
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>		
資本金	172,770	172,770
資本剰余金	122,488	122,488
利益剰余金	6,389,934	6,774,935
自己株式	153,931	153,931
株主資本合計	6,531,261	6,916,262
<b>その他の包括利益累計額</b>		
その他有価証券評価差額金	327	191
為替換算調整勘定	92,271	99,616
その他の包括利益累計額合計	92,599	99,808
非支配株主持分	2,478	-
純資産合計	6,441,141	6,816,454
負債純資産合計	7,800,209	8,238,130

## (2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

## 【四半期連結損益計算書】

## 【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年7月1日 至平成30年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年7月1日 至平成31年3月31日)
売上高	5,485,538	6,216,665
売上原価	1,962,101	2,356,446
売上総利益	3,523,436	3,860,218
販売費及び一般管理費	2,882,031	3,175,853
営業利益	641,404	684,364
営業外収益		
受取利息	1,375	260
受取配当金	238	231
投資不動産賃貸料	27,548	19,863
為替差益	-	2,120
その他	10,376	26,688
営業外収益合計	39,539	49,165
営業外費用		
支払利息	74	2,080
不動産賃貸原価	13,229	12,879
為替差損	21,684	-
その他	1,630	5,006
営業外費用合計	36,618	19,966
経常利益	644,324	713,563
税金等調整前四半期純利益	644,324	713,563
法人税等	354,079	236,451
四半期純利益	290,245	477,111
非支配株主に帰属する四半期純損失( )	-	2,518
親会社株主に帰属する四半期純利益	290,245	479,630

## 【四半期連結包括利益計算書】

## 【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年7月1日 至平成30年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年7月1日 至平成31年3月31日)
四半期純利益	290,245	477,111
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	13	135
為替換算調整勘定	13,481	7,305
その他の包括利益合計	13,467	7,169
四半期包括利益	276,777	469,942
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	276,777	472,421
非支配株主に係る四半期包括利益	-	2,478

【注記事項】

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

(連結の範囲の重要な変更)

第2四半期連結会計期間より、株式の取得により子会社化した園芸ネット株式会社を連結の範囲に含めております。

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

(税金費用の計算)

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。ただし、見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成29年7月1日 至 平成30年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成30年7月1日 至 平成31年3月31日)
減価償却費	148,540千円	142,354千円
のれんの償却額	61,392千円	74,030千円

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自平成29年7月1日至平成30年3月31日)

1 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成29年9月28日 定時株主総会	普通株式	96,092	20.00	平成29年6月30日	平成29年9月29日	利益剰余金

2 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の  
末日後となるもの  
該当事項はありません。

3 株主資本の著しい変動  
該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自平成30年7月1日至平成31年3月31日)

1 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成30年9月27日 定時株主総会	普通株式	96,091	20.00	平成30年6月30日	平成30年9月28日	利益剰余金

2 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の  
末日後となるもの  
該当事項はありません。

3 株主資本の著しい変動  
該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成29年7月1日至平成30年3月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						合計	調整額 (注)1	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注)2
	グリーン事業				卸売事業	小売事業			
	関東エリア	関西エリア	海外エリア	小計					
売上高									
外部顧客への売上高	1,555,749	1,180,234	1,376,985	4,112,969	601,583	770,984	5,485,538	-	5,485,538
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	1,043	-	1,043	63,652	617	65,312	65,312	-
計	1,555,749	1,181,277	1,376,985	4,114,013	665,235	771,602	5,550,851	65,312	5,485,538
セグメント利益(は損失)	360,919	277,012	23,831	614,101	53,834	44,273	623,662	17,742	641,404

(注)1 セグメント利益の調整額17,742千円は、各セグメントの事務所使用料の内部振替分等でありませ

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自平成30年7月1日至平成31年3月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						合計	調整額 (注)1	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注)2
	グリーン事業				卸売事業	小売事業			
	関東エリア	関西エリア	海外エリア	小計					
売上高									
外部顧客への売上高	1,771,082	1,307,973	1,539,553	4,618,609	636,819	961,235	6,216,665	-	6,216,665
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	2,143	-	2,143	199,951	149	202,244	202,244	-
計	1,771,082	1,310,117	1,539,553	4,620,753	836,771	961,384	6,418,909	202,244	6,216,665
セグメント利益(は損失)	388,085	316,322	41,455	662,952	70,690	71,501	662,140	22,223	684,364

(注)1 セグメント利益の調整額22,223千円は、各セグメントの事務所使用料の内部振替分等でありませ

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年7月1日 至平成30年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年7月1日 至平成31年3月31日)
1株当たり四半期純利益金額	60円41銭	99円83銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益金額(千円)	290,245	479,630
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純利益金額(千円)	290,245	479,630
普通株式の期中平均株式数(株)	4,804,623	4,804,578

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【その他】

該当事項はありません。

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

令和元年5月15日

株式会社ユニバーサル園芸社  
取締役会 御中

桜橋監査法人

指定社員  
業務執行社員 公認会計士 川崎 健一 印

指定社員  
業務執行社員 公認会計士 大西 祐子 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社ユニバーサル園芸社の平成30年7月1日から令和元年6月30日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間(平成31年1月1日から平成31年3月31日まで)及び第3四半期連結累計期間(平成30年7月1日から平成31年3月31日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社ユニバーサル園芸社及び連結子会社の平成31年3月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。